

公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団

事業報告書

令和6年度

令和6年度事業報告書

(自：令和6年4月1日)

(至：令和7年3月31日)

I. 事業の状況

令和6年度において実施された各事業を定款第3条に定める事業内容の項目別により、次のように報告を行うものである。

〈事業内容〉

(1) 伝統木版画の制作技術等に関する調査研究等の奨励

① 研究等奨励交付事業

本事業のうち、絵画部門(木版画の版下絵等の作品公募)に焦点をあてた公募(「アダチ UKIYO E 大賞」)の第16回目を既存の奨励賞募集と共に実施した。

アダチ UKIYO E 大賞に関しては、昨年度同様、「現代の浮世絵を描く才能のあるアーティストを発掘する」という公募趣旨に沿って、制作した作品を紹介するポートフォリオのみの募集を行い、審査を実施した。作品の公募期間は令和6年8月27日から令和6年12月25日までの約4ヶ月間とした。公募の告知については、効果があり見られないポスター・チラシによる広報を本年度は行わないこととし、公募専門の雑誌やホームページ(日・英)及び本財団ホームページなどインターネット上での告知(日・英)を実施した。応募については既存の郵送による申込(日)と、オンラインでの申込(日・英)で受付けた。その結果176件の応募があり、令和7年1月20日に開催された審査委員会にて、大賞1件(奨励金総額30万円)・優秀賞1件(奨励金総額15万円)・佳作2件(奨励金総額各5万円)を選考決定した。応募者の内訳としては、海外からの申込が103件、国内からの申込が73件となり、海外からの申込みがオンライン申込みの導入により大幅に増加した前年度(81件)よりもさらに多い結果となった。海外103件の申込者の居住国は37か国にわたり、海外からの関心の高さをうかがわせた。また、本年度の大賞受賞者はカナダ、優秀賞受賞者は香港からの応募者で、昨年引き続き外国人応募者が受賞した。

本公募では本年度も、応募者の画風や力量、日頃の制作活動の成果に重点を置いて総合的に審査をし、現代の浮世絵師としての可能性を秘めた対象者を選出することができた。大賞受賞者には、来日時に来場にて交付認定書ならびに奨励金を授与し、優秀賞受賞者には郵送にて授与を行った。受賞作品の2作品は、令和7年度に木版画として制作され、現代の浮世絵として誕生することとなる。

既存の奨励賞については、伝統木版画の研究者ならびに関係者各位からも奨励テーマの推薦を受けると共に、広範囲に認知度の高揚をはかった。しかし、公募期間中に奨励テーマの応募や推薦は皆無であったため、本年度奨励対象該当者は無しとなった。

◆令和6年度 アダチ UKIYO E 大賞審査委員(3名)

小山登美夫 ギャラリスト

三井田盛一郎 東京芸術大学 美術学部絵画科 教授

山下裕二 明治学院大学 文学部芸術学科 教授

(敬称略・五十音順)



第16回アダチ UKIYO E 大賞受賞作品

《大賞》 賞金 30 万円 + 木版画として制作

・奨励対象者 Kejie Lin (カナダ)

《優秀賞》 賞金 15 万円 + 木版画として制作

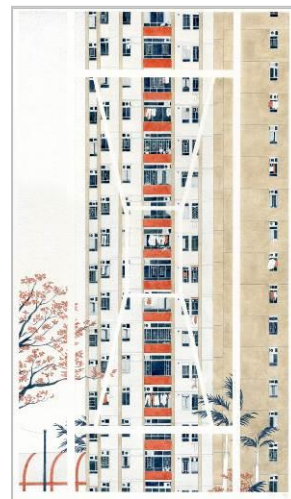
・奨励対象者 Carmen Ng (香港)

《佳作》 賞金 5 万円

・奨励対象者 野々 なずな (日本) 荒井 かれん (日本)



「Tropical Garden 2」
大賞 Kejie Lin ポートフォリオ作品から



「Outside connection I」
優秀賞 Carmen Ng ポートフォリオ作品から

〈事業内容〉

(2) 伝統木版画の制作技術者の育成事業

② 後継者育成事業

本事業のうち、伝統木版画の制作技術等の保存および育成に取り組んでいる現行唯一の任意団体「浮世絵木版画彫摺技術保存協会」に対する育成金交付については、育成対象者が無かったため、本年度も実施を見送った。

一方、伝統木版画に強い興味と適正能力をもつ学生等を対象として、総合的に高度な専門技術を習得させることを意図した「高度技術者研修」事業についても、本年度は適性を有する該当者が無かったため、前期（令和6年4月～令和6年9月）の高度技術研修生の研修は見送った。また、第28期高度技術研修生を採用するにあたり、令和6年5月～令和7年3月まで募集を行った。本募集の告知は、本財団ホームページ及び伝統工芸職人の求人サイト「四季の美」での紹介、全国的美術系大学および専門学校や問い合わせのあった個人に対して応募要項を送付するなどして行った。その結果3名の応募者があり、選考の結果、適性を有する該当者が無く、第28期高度技術研修生（前期）の採用は見送ることとした。次年度からは、募集方法や対象を広げ、伝統木版画に対して深い興味を持つ学生などの応募を促すよう努めるものとする。

◆ 第28期高度技術研修生（前期）

該当者なし

◆ 技術研修所

東京都新宿区下落合3-13-17

〈事業内容〉

(3) 伝統木版画の制作技術者に関する研修会の開催

③ 技術実演・研修事業

1) 技術実演会

主に大学・専門学校・高校などの教育機関、美術館および博物館などの文化施設を対象として、伝統木版画の制作技術等に関する啓蒙普及をはかるために、これまで本財団の理事ならびに評議員の中より伝統木版画の制作技術等に精通する数名を講師として要請のあった施設に派遣し、「技術実演会」を行ってきた。

本年度は、国内の美術館や博物館で開催される浮世絵の展覧会にあわせた技術実演の依頼を5件程度受けた。また、本財団常設展示室において平成9年10月から年数回、土曜日に実施していた「浮世絵版画実演会」については、摺の実演を3回、摺の体験の付いた摺の実演を親子向けと一般向けの計2回、計5回の実演を行った。各回の来場者の数や質疑応答の様子などは、伝統木版技術に対する関心度の高さを示すものであった。

実演・体験実施状況

- ・すみだ北斎美術館（令和6年7月）
- ・太田記念美術館（令和6年7月）
- ・経済同友会（令和6年9月）
- ・東京藝術大学版画研究室（令和6年10月）

◆ 太田記念美術館

- ・実施日程 令和6年7月27日 午後2時-4時
- ・講師 摺師：岩崎果乃女（アダチ版画研究所所属）
解説：中山周（本財団理事）
- ・実施内容 摺師による浮世絵版画「北斎 神奈川沖浪裏」の摺実演と伝統木版画に関する道具や制作等の説明・質疑応答及び体験
親子向け・体験付
- ・参加者数 20組40名



摺実演風景



摺体験風景

2) 研修事業

木版画に強い関心を抱く一般の愛好家を対象として、初級技術の習得を意図した「職人に学ぶ木版画教室」は、昨年度同様、全2回の1クラス（定員18名）にて実施した。また、平成26年度より始まった②後継者育成事業の研修対象者を選抜することを目的としたインターンシップ型研修会については、本年度は8月に実施した。募集の告知は、本財団ホームページでの紹介、全国の美術系大学および専門学校、また問い合わせのあった個人に対して応募要項を送付するなどして行った。その結果3名の参加者に対して、本財団で用意した教材を使用し、彫摺の基本技術を高度技術者から習得する目的の研修を実施した。本研修会の実施により、面接だけでは判断できない各参加者の技能を図ることができ、②後継者育成事業の研修対象者の採用において有意義であった。しかしながら、本年度の本研修参加者からの高度技術研修生の採用については、適正が見受けられる該当者が無く、見送りとした。

◆「職人に学ぶ木版画教室」の骨子

- ・研修テーマ 伝統木版画の基礎的技術の実践
- ・日 程 令和6年9月28日、10月12日 計2回開催
- ・場 所 本財団常設展示室
- ・参加人数 計17名（うち本財団賛助会員5名）
- ・研修講師 彫師：岸 千倉（アダチ版画研究所所属）
摺師：京増与志夫（アダチ版画研究所所属）



彫師の実演風景



摺師の実演風景



参加者作業風景



摺指導風景

◆インターンシップ型研修会

- ・研修テーマ 研修生対象者の選抜を目的とした伝統木版画の基礎的技術の実践
- ・日 程 令和6年8月26日～8月29日（4日間）
- ・場 所 本財団常設展示室
- ・参加人数 計3名
- ・研修講師 彫師：岸千倉（アダチ版画研究所所属）
摺師：京増与志夫（アダチ版画研究所所属）



参加者彫作業風景



彫指導風景

〈事業内容〉

(4) 伝統木版画の制作技術等に関する資料の収集及び公開

④ 技術展示紹介事業

現在の常設展示室が木版画の総合施設として一般公開され、本年度で20年目を迎えた。開設以来、本財団が保存管理する復刻版木（総数約1,200点）と多数の文献資料について、その整理をすすめるとともに、新たに伝統木版画の制作技術等に関する資料（道具・材料・制作工程等）の整備も行ってきた。その結果、より充実した形で常設展示が出来るようになり、伝統木版画に興味を持つ多くの個人や団体が常設展示室を訪れるようになっている。

また、本年度も、教育機関、美術館および博物館などの文化施設において浮世絵展が開催されたのに合わせ、国内外から制作技術を紹介するために展示資料の貸出や体験用の版木制作の依頼を受けた。

そして、本財団常設展示室においては、企画展「設立30周年記念展 数字で分かる「神奈川沖浪裏」の世界的評価とその魅力」を開催した。また、②技術実演・研修事業での事業成果を発表する機会の一環として「職人に学ぶ木版画教室」作品展示会を実施した。

◆ 展示品および資料の貸出し

浮世絵版画摺り順序、彫摺道具一式

- ・「新ジャポニズム「すみずみまで見る 日本の文化財展 ～蔦重の浮世絵・はにわ・土偶・中尊寺金色堂～」」NHK 放送博物館（日本・東京）（令和7年3月）



道具展示風景



摺順序展示風景

< 常設展示室 >

東京都新宿区下落合 3-13-17

◆ 財団設立 30 周年記念展 数字でわかる 北斎「神奈川沖浪裏」の世界的評価とその魅力

令和 6 年 7 月 3 日に発行された新千円札に採用された葛飾北斎「神奈川沖浪裏」に関連し、本作品にまつわる数字に着目するとともに、浮世絵を代表する図柄としての「神奈川沖浪裏」の世界的評価とその背景に迫る企画展を開催した。なお、本展は本財団の設立 30 周年記念事業の一環として実施したものであり、技術および制作の観点からも「神奈川沖浪裏」をはじめとする浮世絵木版画の魅力を紹介・解説した。

また、より多くの方々に浮世絵木版画の技術や継承活動への理解を深めていただくことを目的に、ビジネスパーソンを対象とした講演会、小・中学生向けのトークイベントとワークショップ、さらに親子向けの体験付き摺実演といった関連イベントを実施した。



展示風景



- ・実施期間 令和 6 年 6 月 25 日～令和 6 年 8 月 24 日
- ・実施場所 本財団目白常設展示室
- ・来場者数 367 名（日本人 319 名、外国人 48 名）

◆ 夏休み特別イベント①

「葛飾北斎博士ちゃんと自由研究

＼みんなで話そう／ 北斎ってスゴい!？」

- ・講師：葛飾北斎博士ちゃん” こと目黒龍一郎氏
- ・実施日程：令和 6 年 7 月 20 日（土）午後 2 時～
- ・参加人数：9 組 18 名
- ・概要：第一部：目黒氏によるトークイベント
第二部：「神奈川沖浪裏」についての理解を深めるワークショップ



親子向けイベント実施風景（目黒龍一郎氏）

◆ 夏休み特別イベント②

【浮世絵 摺の実演&摺体験】

- ・実施日程：令和6年8月3日（土）
 - ① 午前10時30分～（親子向け）
 - ② 午後2時～（一般の方向け）
- ・定員：①15組（小学生以上保護者同伴） ②30名
- ・参加人数：①37名 ②34名
- ・概要：「神奈川冲浪裏」の摺実演と、原寸の半分のサイズの「神奈川冲浪裏」の輪郭線を摺る体験



親子向け摺の実演実施風景

◆ 特別講演会

株式会社クリスティーズジャパン代表取締役社長・山口桂氏をお迎えして

「浮世絵とオークションー世界の中の浮世絵 北斎を中心にー」

- ・講師：山口桂氏（株式会社クリスティーズジャパン代表取締役社長・本財団理事）
- ・実施日程：令和6年8月10日（土）午後2時～
- ・定員：40名
- ・参加人数：32名
- ・概要：オークションにおける浮世絵の価値や価格の変遷について、オークションのスペシャリストならではの視点から講演



ビジネスパーソン向けイベント実施風景（山口桂氏）

◆ 「職人に学ぶ木版画教室」作品展示会

令和6年9月～10月に開催された初級技術研修会「職人に学ぶ木版画教室」の参加者17名の制作作品の展示を令和6年12月14日から令和7年1月18日まで本財団常設展示室にて行った。

〈事業内容〉

(5) 伝統木版画の制作技術等に関する情報の提供及び刊行物の発行

⑤ 情報提供事業

当該事業は、業界団体・研究機関・一般団体等が主催する展覧会等からの各種資料の貸出し依頼、また一般からの制作技術等に関する問合せ及び相談等の要請に応え、情報センター的機能を果たすものである。近年、DVD「匠達の技」（和英二カ国語版）の放映依頼が国内外で開催される浮世絵展にあわせて多くなっている。これは、浮世絵制作技術に対する関心の高まりを示すものといえる。また、和英併記にて制作した財団紹介小誌

を国内外の美術館へ配布することにより、本財団の活動への理解が促進された。また例年に引き続き、本財団が展開する事業の成果や活動状況を賛助会員の他、広く一般にも伝えるために「財団レポート木版—令和5年版—」を令和6年7月に発行した。このレポートは、年度内に行われた事業報告を行うことを目的として作成され、収支計算書と併せて、財団常設展示室の来場者を中心に一般に無償配布を行った。更に賛助会員に対しては、本財団の活動に関する最新情報をリアルタイムで告知するために、メールでの活動の報告も併せて実施した。

◆ 画像の貸出

- ・株式会社公文教育研究会 (令和6年5月)
- ・株式会社テレビ朝日 (令和6年7月)
- ・株式会社日本入試センター (令和6年8月)
- ・日本文教出版株式会社 (令和6年10月)

他約20件

◆ 本財団ホームページ

平成8年に開設した本財団のインターネットにおけるホームページでは、事業内容やその成果、伝統木版画に関する情報提供等を行ってきた。特に、情報センターや技術実演会への問い合わせの多くは、ホームページを通じてなされ、事業活動の活性化にとって、大きな役割を担っている。また近年では、海外の美術館から浮世絵展開催にあたり、制作に関する展示やDVD放映などに関する依頼も増えており、海外の方の伝統木版技術に対する関心が高まっている。そのため、本財団ホームページを平成28年7月に和英二ヶ国語対応、スマートフォンに対応したサイトへと改編した。また同時に、賛助会員の申込みをホームページ上から出来るようにしたことで、海外の賛助会員の獲得にもつながっている。

- ・ホームページ URL <http://www.adachi-hanga.com/foundation/>

〈事業内容〉

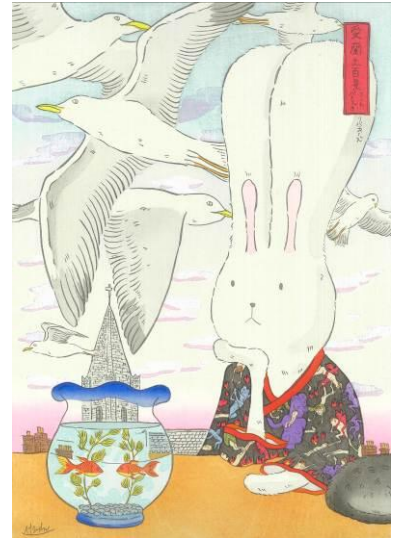
(6)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

⑥木版画制作監修事業

当該事業は、伝統木版画の制作技術を高いレベルで維持・継承するために、浮世絵版画の復刻事業だけでなく、様々なジャンルのアーティストを絵師として迎え、彫師・摺師とともに新たな木版画の制作し、その監修を行うことで木版画の可能性を追求するものである。本年度は、世界的に活躍する Atsushi Kaga 氏、KYNE 氏、加藤泉氏、田名網敬一氏、Martin Watson 氏、feebee 氏の木版画制作を第一級の技術者によって実施した。田名網敬一氏については、財団設立30周年記念の木版制作のために原画を提供いただき、制作を行った。また、賛助会員向けの進呈作品には、本財団主催のアダチ UKIYOE 大賞の受賞者である小林隆之氏(第14回大賞)、Jaime Scholnick 氏(第15回大賞)に木版画のための作品提供受け、制作が行われた。

◆ Atsushi Kaga「愛蘭土百景 セントパトリック リバティーズ」(令和6年4月)

- ・画面寸法：天地 404 mm×左右 283 mm
- ・制作担当：彫／長谷川博美(アダチ版画研究所所属)
摺／鈴木茉莉奈(アダチ版画研究所所属)



◆ KYNE「無題3」(令和6年4月)

- ・画面寸法：天地 415 mm×左右 305 mm
- ・制作担当：彫／新實護允(本財団評議員)
摺／岸 翔子(アダチ版画研究所所属)
長沼翔太(アダチ版画研究所所属)



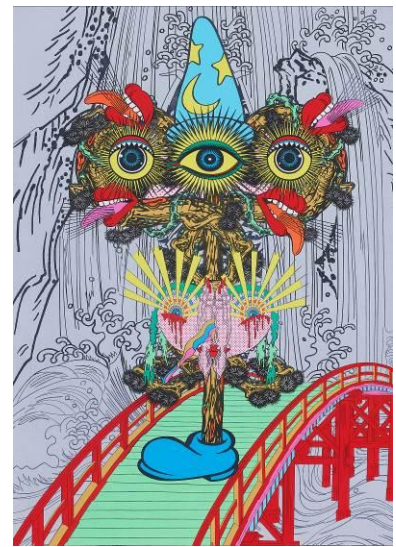
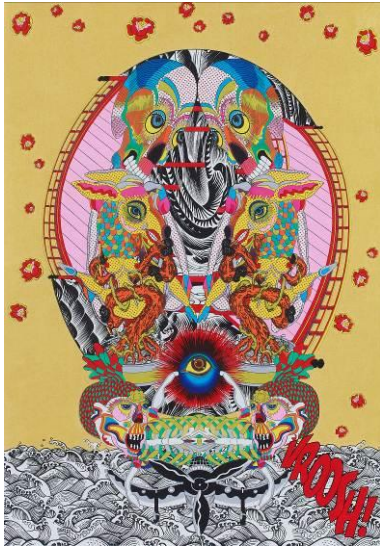
◆ 加藤泉「無題3」「無題4」(令和6年8月)

- ・画面寸法：天地 535 mm×左右 245 mm (各図)
- ・制作担当：彫／岸 千倉(アダチ版画研究所所属)
摺／岸 翔子(アダチ版画研究所所属)



◆ 田名網敬一「豊穣の庭」、「藍御前」、「橋上のランデブー」（令和6年8月）

- ・画面寸法：天地 565 mm×左右 397 mm（各図）
- ・制作担当：彫／岸 千倉（アダチ版画研究所所属）
長谷川博美（アダチ版画研究所所属）
摺／京増与志夫（アダチ版画研究所所属）



◆ Martin Watson「Sea Turtle」（令和6年11月）

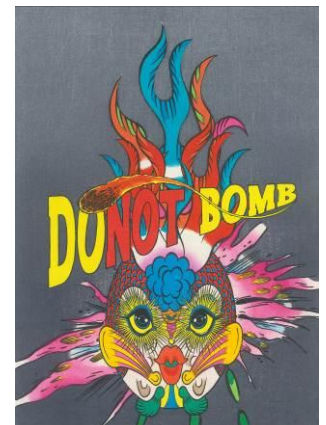
- ・画面寸法：天地 374 mm×左右 540 mm
- ・制作担当：彫／岸 千倉（アダチ版画研究所所属）
摺／京増与志夫（アダチ版画研究所所属）



◆ 本財団設立 30 周年記念品

田名網敬一「DO NOT BOMB」（令和6年12月）

- ・画面寸法：天地 240 mm×左右 170 mm
- ・制作担当：彫／岸 千倉（アダチ版画研究所所属）
摺／京増与志夫（アダチ版画研究所所属）
鈴木茉莉奈（アダチ版画研究所所属）
佐々木文寧（アダチ版画研究所所属）



feebee「寿という獣 巳」（令和6年12月）

- ・画面寸法：天地 230 mm×左右 230 mm
- ・制作担当：彫／新實護允（本財団評議員）
摺／岩崎果乃女（アダチ版画研究所所属）



第14回アダチ UKIYO E 大賞 大賞

◆ 小林隆之「蜜柑」（令和6年12月）

- ・画面寸法：天地 231 mm×左右 285 mm
- ・制作担当：彫／山下真佳（アダチ版画研究所所属）
摺／佐々木文寧（アダチ版画研究所所属）



第15回アダチ UKIYO E 大賞 大賞

◆ Jaime Scholnick「Grief」（令和6年12月）

- ・画面寸法：天地 267 mm×左右 230 mm
- ・制作担当：彫／新實護允（本財団評議員）
摺／長沼翔太（アダチ版画研究所所属）



令和6年度事業報告書 附属明細書

(自：令和6年4月1日)

(至：令和7年3月31日)

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団